

バックアップ停止後のよくあるトラブル

OneDrive のバックアップを停止すると、ドキュメント、ピクチャー、デスクトップのフォルダーが、それらのフォルダーが元々あった C ドライブのユーザーフォルダー内に復活しますが、その際、何らかの影響でエクスプローラーのクイックアクセスにトラブルが発生することがあります。

ここでは、そのようなトラブルの解消方法について解説します。

ただし、このトラブル解決方法は、レジストリを修復するなどの高度な操作と知識を必要としますので、自信のない方は自分ではやらずに、詳しい方に依頼するようにしてください。

1 トラブルの内容

OneDrive のバックアップを停止すると、エクスプローラーのクイックアクセスから、ドキュメント、ピクチャー、デスクトップのフォルダーが消える、あるいは「フォルダーをクリックしてもそれらのフォルダーの実体につながらない」というトラブルが発生することがあります。

2 トラブルが発生する原因

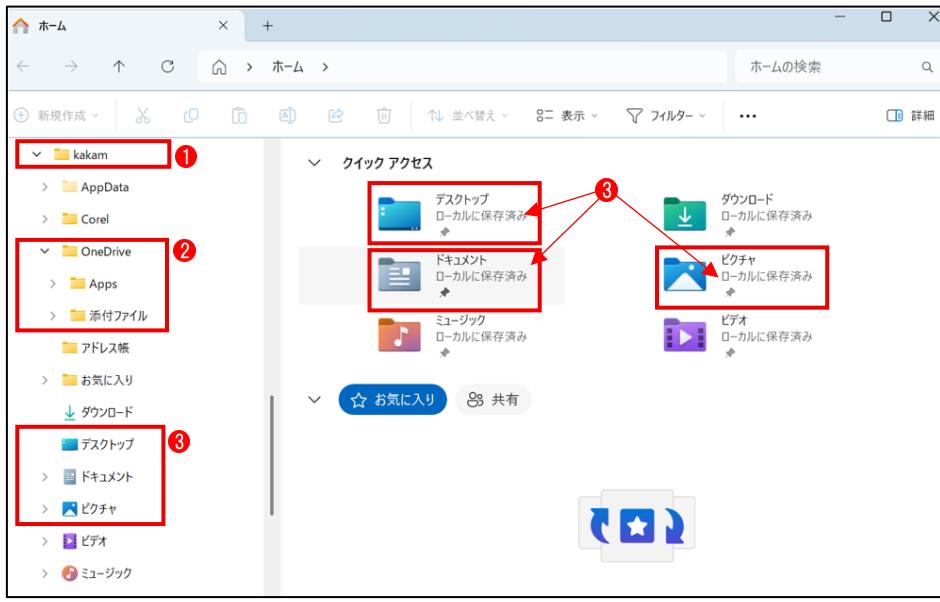
なぜクイックアクセスから「ドキュメント」が消えたり、アクセスできなくなったりというトラブルが発生するのでしょうか？

その理由は次のとおりです。

- ① OneDrive のバックアップ（同期）を有効にすると、
 - ドキュメント
 - ピクチャ
 - デスクトップなどの既定フォルダーの実体は OneDrive 配下に移動します。
 - ② バックアップを解除すると、Windows は、これらのフォルダー（ここでは、ドキュメント）を「元の場所 (C:\Users\<ユーザー名>\Documents) に戻す」という処理を試みます。
 - ③ ところが、Windows のこの作業中に、PC によってはこの試みがうまくいかずに、
 - 元のパスが正しく復元されない
 - ショートカット（クイックアクセス）が古いパスを指したままである
 - そもそもリンクが消えるといったトラブルが発生する事例が数多く見られます。
- これは Windows の内部で、「Known Folder GUID」という仕組みが壊れたときに発生する典型的な「フォルダーの場所情報の破損」事故です。

3 トラブルが発生するメカニズム

- (1) OneDrive のバックアップを行っていない（同期していない）場合のフォルダーの状態
- ここでは、説明を簡明にするために、バックアップ対象になっているデスクトップ、ドキュメント、ピクチャの各フォルダーに絞って図解していきます。
- C ドライブのユーザーフォルダー（ここでは kakam）① の直下に、OneDrive ② とそれ以外の既定のフォルダー（デスクトップ、ドキュメント、ピクチャ）③ が同列で配置されています。クイックアクセスには、いずれも「ローカルに保存済み」と表示されています。

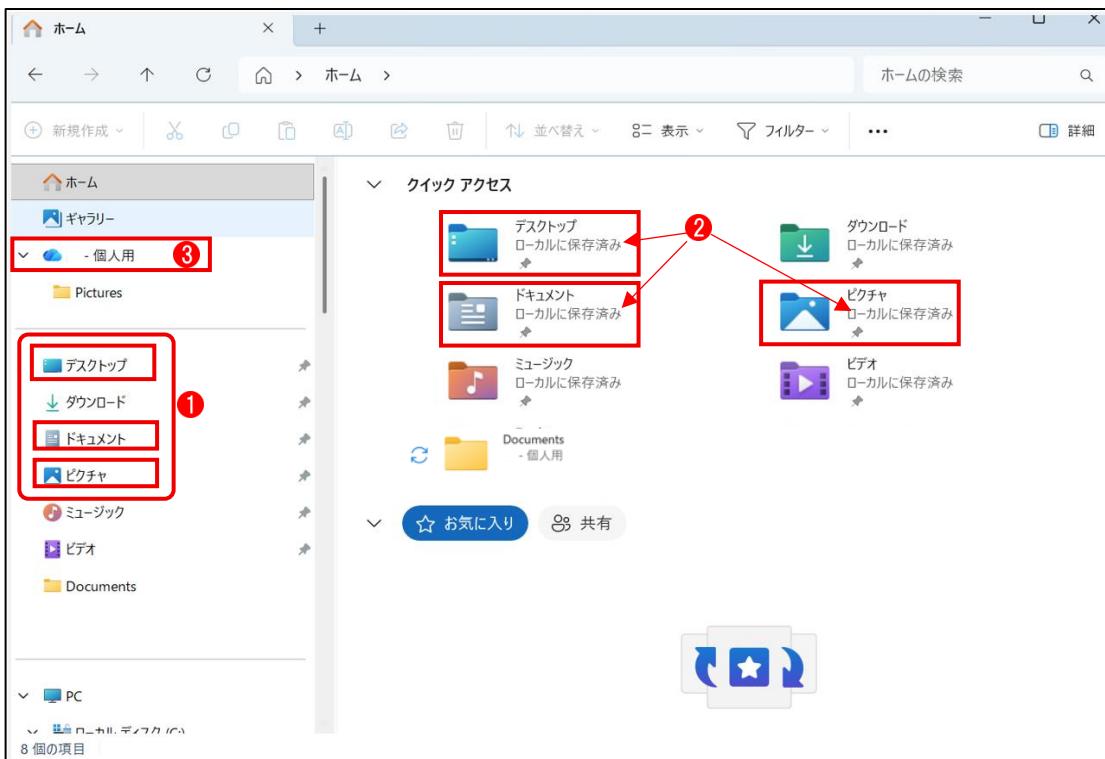


- (2) OneDrive へのバックアップを行っている（同期中）場合のフォルダーの状態
- C ドライブのユーザーフォルダー（kakam）① の直下にあったデスクトップ、ドキュメント、ピクチャの 3 つのフォルダー③ が、元の場所から OneDrive ② の中へ移動しました。OneDrive と同期しているフォルダーには、同期中のアイコン（雲の上に赤い点）が付いています。また、Documents ③ という何やら怪しげなフォルダーが追加されています。

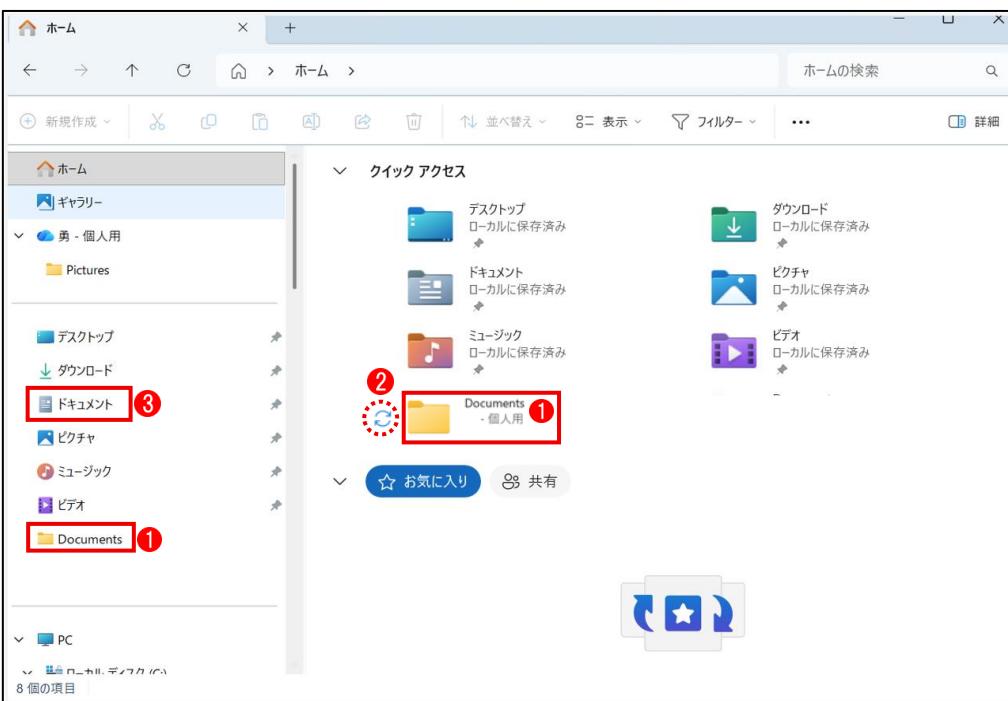


(3) OneDrive との同期を停止した（バックアップを停止した）後の状態

- デスクトップ、ドキュメント、ピクチャの 3 つのフォルダー①から OneDrive と同期中のマーク（ など）が消えて、「ローカルに保存済み」②と表示されており、OneDrive フォルダー③の配下から切り離されて、元の場所に移動して保存されたことが分かります。



- ところが、今度は、バックアップ（同期）をする前の状態とは若干異なり、クイックアクセスに今までにはなかった「Documents」①というフォルダーが見えていています。また、このフォルダーに OneDrive にと同期中のマーク②が付いていて、いつまで経っても同期が終了しません。明らかに、何らかのトラブルが発生していると思われます。



- ・まず上図のクリックアクセスにある「ドキュメント」③が本来あるべきドキュメントフォルダーにアクセスできるかを検証してみます。

→右クリックして、プロパティ④を開いてみると、

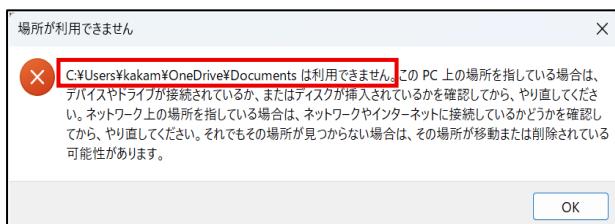
ドキュメントフォルダーの正しい場所⑤を示していました。

→同じように、ピクチャフォルダーとデスクトップフォルダーも検証したところ、どちらも正しい場所を示していました。

→したがって、クリックアクセスは正しくリンクされていることが分かりました。



- ・次に、クリックアクセスの「Documents」①をクリックしてみると、下のメッセージが表示されました。



「C:\kakam\OneDrive\Documents は利用できません。」と記載されています。

→OneDriveへのバックアップを停止したにも関わらず、不要になったOneDriveへのクリックアクセスだけは残っているという不具合が発生しています。

4 トラブルの解決方法

トラブル解消には2つの方法があります。

(1) トラブル解決の第1ステップ

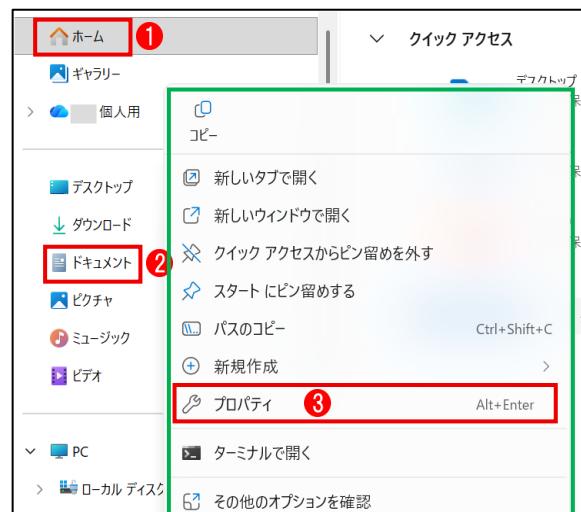
<方法1>既定フォルダーの場所を正しく戻す（最も重要）

1 エクスプローラーを開く

2 左側の「ホーム」タブ①

→「ドキュメント」②を右クリック

→「プロパティ」③をクリック



3 ドキュメントのプロパティ④

→「場所」タブ⑤をクリックします。

4. ⑥の値が

C:\Users\kakam\Documents になっている

か確認します。

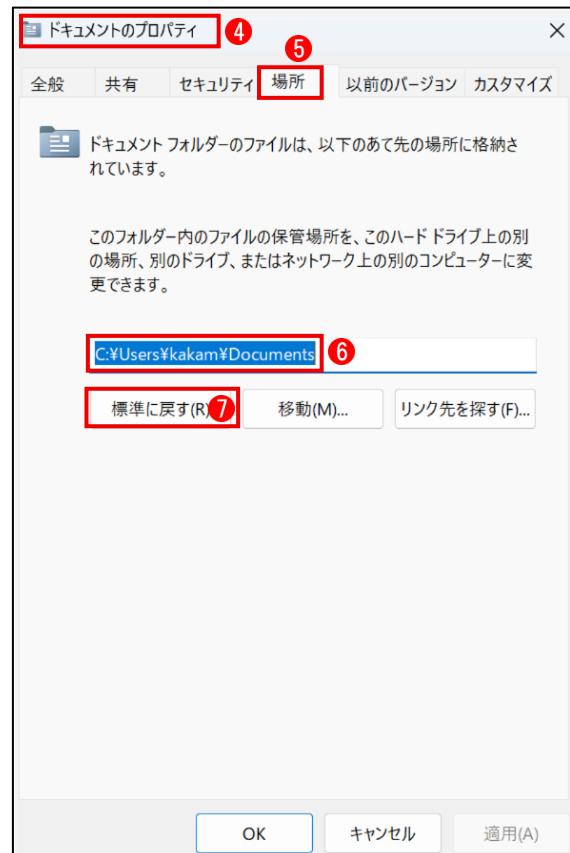
→間違いなければ、「キャンセル」

5 違っていたら「標準に戻す」⑦をクリック

6 「移動しますか？」と聞かれたら「はい」
をクリック

→ここで Windows が“正しい場所”を
再認識します。

★「場所」タブが表示されない場合は、
第2ステップに行きます。



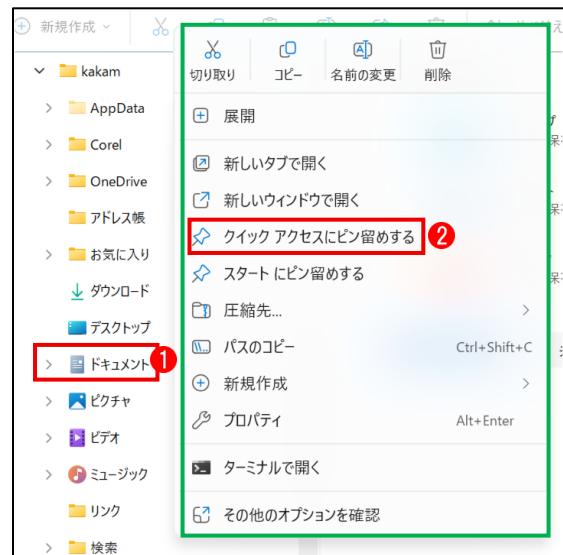
<方法2> クイックアクセスに手動でピン留めし直す

1 エクスプローラーで、

C:\Users\kakam\ドキュメント①を開
きます。

2 右クリック→「クイックアクセスにピン
留める」②をクリックします。
これでアイコンが復活します。

★クイックアクセスにピン留めできな
い場合は、第2ステップに行きます。



(2) トラブル解決の第2ステップ

<方法1>で→「場所」タブが表示されない

<方法2>で→クリックアクセスにピン留めできない

という場合は、次のトラブルが発生していると考えられます。

1 「本来のドキュメント」の場所が壊れた

2 Windows が「ドキュメント」を既定フォルダーとして認識できていない

3 そのため「場所」タブが消え、クリックアクセスにも登録できない

これは Windows の内部で、「Known Folder GUID」という仕組みが壊れたときに発生する典型的な「フォルダーの場所情報の破損」事故です。

<解決方法>レジストリで既定フォルダーの場所を修復する（確実に直る）

「場所」タブが消えている場合は、

レジストリの Known Folder のパスが OneDrive のまま残っていることが多いです。

→レジストリのキーを表示します。

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Explorer\User Shell Folders

ここにある Personal の値が %USERPROFILE%\Documents になっているか確認します。

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Explorer\User Shell Folders

にある Personal (ドキュメント) の値が、 C:\<ユーザー名>\OneDrive\ドキュメント のように OneDrive のパスを指している場合、 %USERPROFILE%\Documents に修復 (変更) します。

5 レジストリの修復方法

(1) レジストリの修復操作をする前の事前準備と確認事項

① OneDrive のバックアップが完全にオフになっているか確認する

② 実際のフォルダー構造を確認しておく

レジストリを直す前に、実体のフォルダーが存在するか確認します。

もし存在しない場合、レジストリを直しても Windows が迷子になるため、先にフォルダを作成しておく必要があります。

③ エクスプローラーをすべて閉じてから作業する

エクスプローラーが開いたままだと、キャッシュが残っていて変更が反映されないことがあります。

④ 変更後は必ず Windows を再起動する

レジストリの “Known Folder” の変更は、再起動しないと Windows が認識しません。

⑤ 不要なキーを触らない（最も大事な心構え）

User Shell Folders の中には多くの項目がありますが、OneDrive のパスが残っている項目だけ修正します。

(2) レジストリのバックアップ

レジストリは Windows の脳にあたる部分なので、変更前に必ずバックアップを取ります。

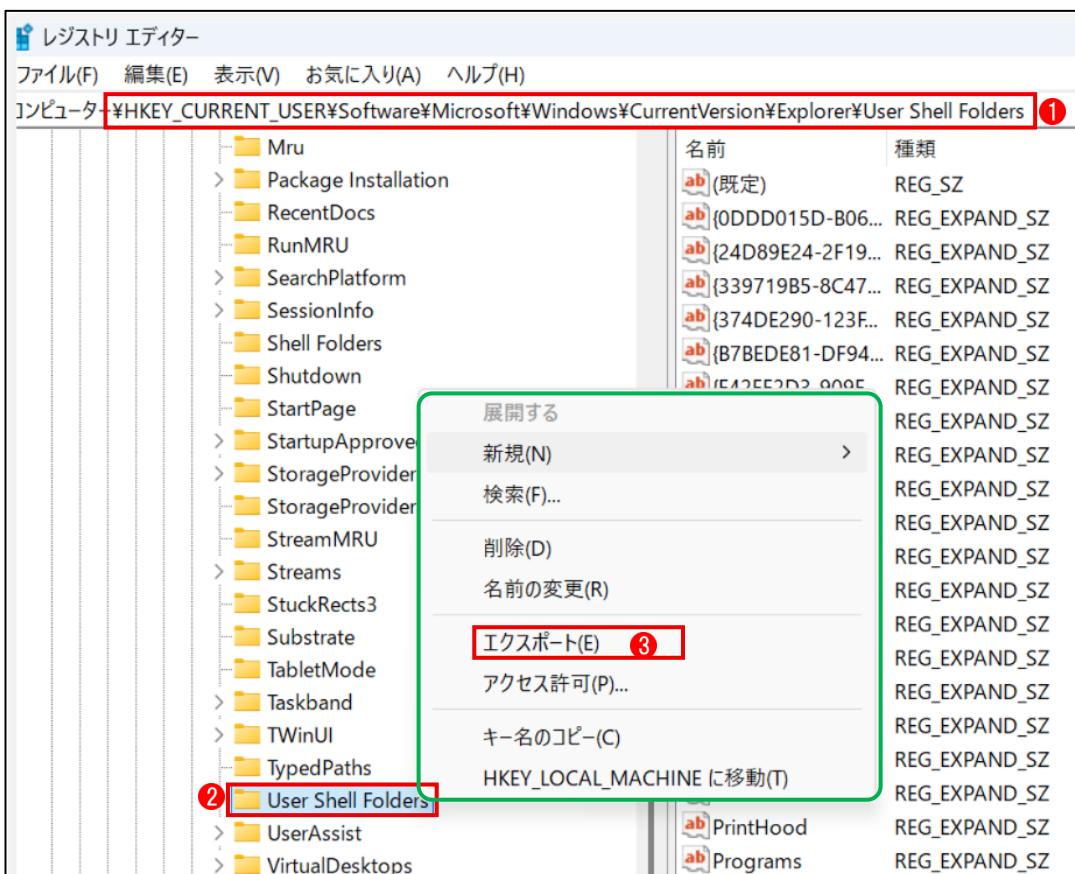
- 1 regedit を検索①して、
レジストリエディター②を起動します。



- 2.修正するキー（User Shell Folders）を選択します。

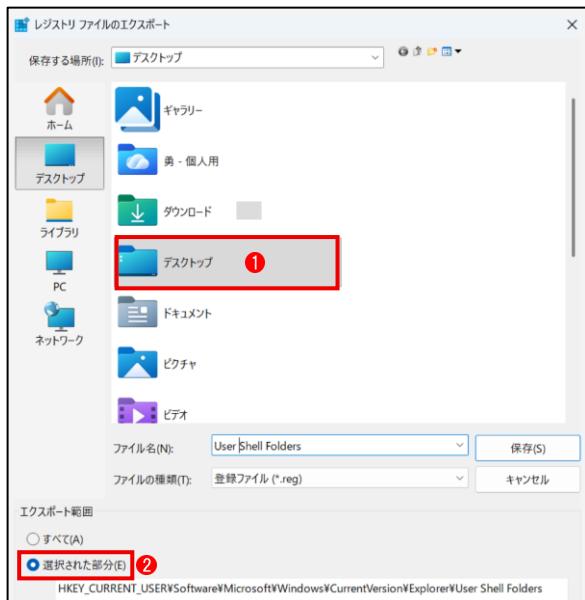
レジストリを①まで辿り、User Shell Folders ②を探します。

- 3.右クリック → 「エクスポート」③をクリックします。



4.任意の場所（例：デスクトップ）①に保存します。

この時、エクスポート範囲は「選択された部分」②を選択します。

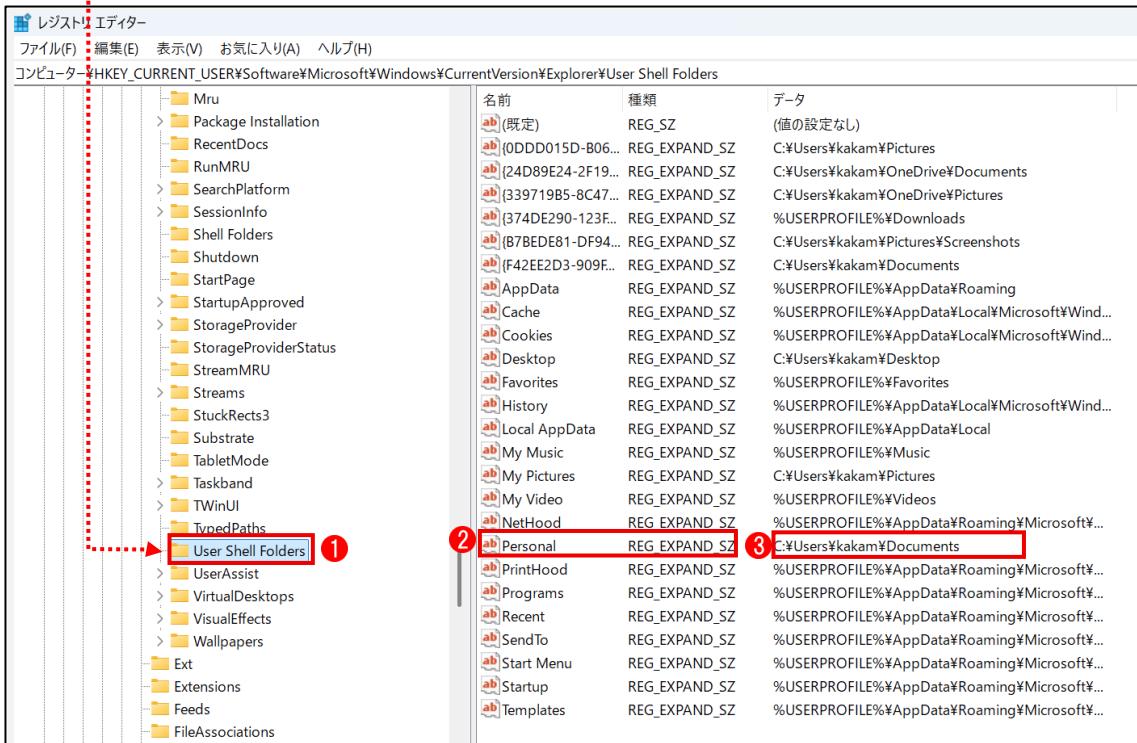


これで、もし何かあっても ダブルクリックで元に戻せるので安心です。

(3) レジストリ修復手順

- ① レジストリエディタを開きます。
 - ② 以下へ移動します。

HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Explorer\User Shell Folders ①



- ③ 右側の **Personal** ② (これが[ドキュメント]フォルダーです。) を探します。
- ④ 値③が OneDrive のパスになっていたら、以下に修復（変更）します。

%USERPROFILE%\Documents

上図では、C:\Users\kakam\Documents ③ なってて、このままでも大丈夫なのですが、デフォルトでは %USERPROFILE%\Documents なっているものなので、やはりこの値に変更します。

<値の変更手順>

1 Personal の文字をダブルクリックします。

2 「文字列の編集」画面①が開くので、

C:\Users\kakam\Documents②を %USERPROFILE%\Documents③に変更します。

→「OK」ボタン④をクリックします。



- ⑤ PC を再起動します。

再起動後には、次のようにになります。

- 1 「ドキュメント」が既定フォルダーとして復活
- 2 「場所」タブが戻る
- 3 クイックアクセスにピン留めできるようになる

このレジストリの修復（変更）は、必要なフォルダーすべてに対して行います。

レジストリ名	意味	正しい値
Personal	ドキュメント	%USERPROFILE%\Documents
My Pictures	ピクチャ	%USERPROFILE%\Pictures
Desktop	デスクトップ	%USERPROFILE%\Desktop

なお、レジストリの値が絶対パスのままでも、実害がなければそのままでも大丈夫です。

6 その他

レジストリを変更する前の時点で、C ドライブのユーザーフォルダーの中に、本来のドキュメントのほかに、「Documents」というフォルダーが残っている場合があります。

これは、レジストリ変更後に再起動すると見えなくなります。